

日本僑報

日中関係・華僑華人情報専門紙

編集 / 日中交流文献資料センター 定価 / 300 円
〒333-0866 川口市芝 5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長/段 躍中

電子週刊無料購読のご案内

日本僑報電子週刊は1998年に創刊された華僑華人・日中関係の最新情報を定期的に取り上げるメールマガジンです。メールアドレスのある方なら無料購読できます、まだ登録していない方はぜひお知らせください。メルマガを通して毎週水曜日に会いましょう。皆さんのすばらしい活動をこのメルマガによる発信ができれば幸せと存じます。

申込先: duan@duan.jp

『現代中国人の日本留学』出版を祝す

新潟大学教授 古厩 忠夫

私は段躍中氏が新潟大学現代社会文化研究科在学中副指導教官を務めた。同氏は中国に居た時から情報メディア関係に関心を持っており、来日後もそれは一貫していた。彼の研究テーマは留学生問題だったが、彼の特徴はきわめて実践的なことで、メディアへの関心を活かして華僑・華人の情報紙『日本僑報』の編集主幹を務め、各種著作の出版に関わるなど活発に行動し、多くの留学生からインタビューを採り、そこで体験し収集したことを積極的に研究に取り入れていくことにあった。彼が収集した資料はすでに『在日中国人大全』などの書として出版され、巷間の歓迎を受けているところである。

今回出版の運びとなった学位取得論文『現代中国人の日本留学に関する研究』は氏のそうした豊富な現場活動経験と、戦前以来百年間にわたる日本への留学の歴史を総括する作業とから生まれた大変な労作である。読者には戦前の留学ブームと戦後の留学ブームの比較考察、両者に共有する「留米親米、留日反日」といわれるような日本留学の問題点の分析などが印象に残るであろう。何れにせよ今日の留学生問題を含めてこれだけ広範かつ全面的に論じた書はまだない。本書が中国人日本留学生に関する書の決定版になることは間違いない。

さて、私はこれまで、毎年数名の留学生を受け入

れてきた。大学院生と一年前後の短期留学生が中心である。その中には、月額18万円の支給を受ける国費留学生から、生活・研究費のすべてをアルバイトでまかなう私費留学生まで、さまざまである。中国の留学生が異彩を放つのは私費留学生の場合が多い。段氏も私費留学生であった。とりわけ、東京に比べてアルバイトの少ない新潟での私費留学生は生計を立てるのが大変である。教員も私費留学生を引き受けると大変だからと忌避する傾向にある。だから彼らはできるだけ指導教官に迷惑をかけないようにと気を遣い、少しでもバイトの時間を減らして研究時間を作るために、割のいい肉体労働を選ぶ。中には建築現場の焚き火で大やけどをした者もいた。月3000円という通常の10分の1の値段で物置を借り、水道のない生活をする者もいた。

こうした厳しい状況の中で、笈を負うて日本に留学してきた人々は日本にとってもかけがえのない人々である。当初、私は少しでも彼らのために力になってあげたいと考えていた。過去の責任への一つの対応であるという意識もあった。

彼らは私の担当する授業やゼミに出席した。日本人の学生に比べて、積極的に発言するし、意見もはっきりしている。やがて、日本人学生たちは、自